岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和元年７月５日　岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2019 年第 26 週
(6/24～6/30)

○ 手足口病が前週よりさらに増加しています。特に岐阜市保健所管内で患者報告数が多くなっています。
○ 咽頭結膜熱、ヘルパンギーナも増加しています。
○ 伝染性紅斑は、県内の広い地域で患者の報告が続いています。
○ インフルエンザは減少していますが、今週（7/1～）も可児市内の小学校でＢ型インフルエンザによる学級閉鎖が行われています（7/3 時点）。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

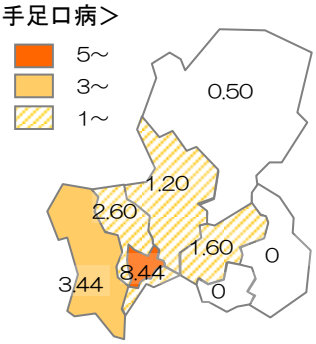
● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	手足口病	定点当たり５人以上(2 人を下回るまで継続)	岐阜市（8.44）
	伝染性紅斑	定点当たり２人以上(1 人を下回るまで継続)	関（1.00）
注意報レベル	なし	―	

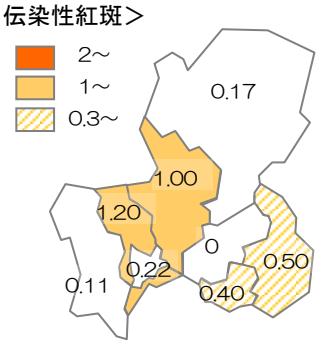
※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後４週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

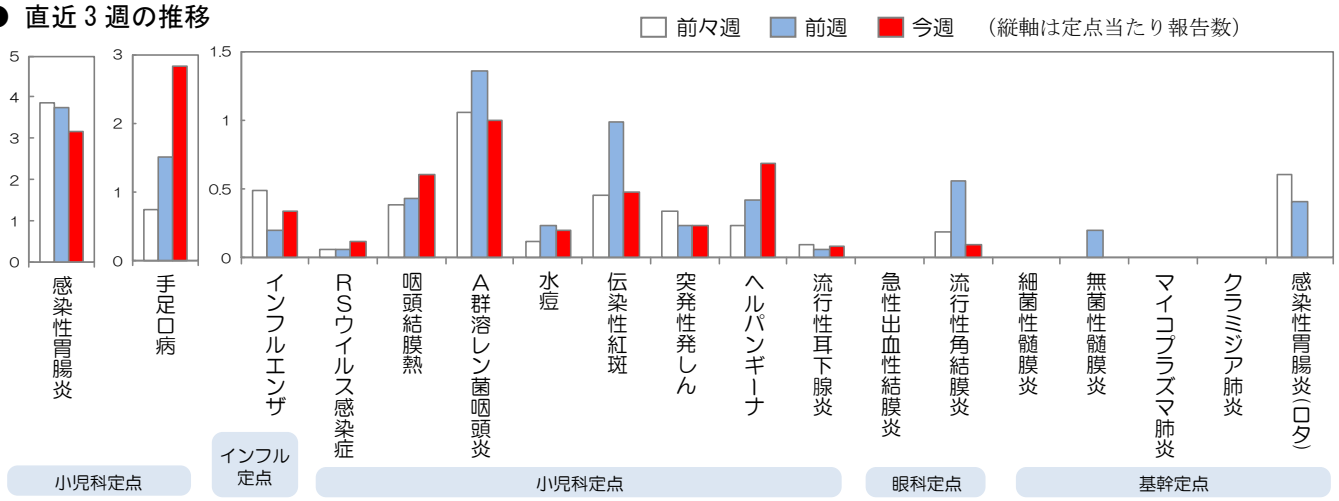
＜手足口病＞



＜伝染性紅斑＞



● 直近３週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

●今週届出分

１類感染症：なし
２類感染症：結核５例
３類感染症：腸管出血性大腸菌感染症３例
４類感染症：Ａ型肝炎１例、レジオネラ症３例
５類感染症：アメーバ赤痢１例、後天性免疫不全症候群１例、侵襲性髄膜炎菌感染症１例、百日咳３例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。
感染症発生動向調査週報（IDWR）https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP　http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/

＜情報編＞